



感動のそばに、いつも。

# 創造性コンソーシアムプレゼン資料

2024年5月7日

(株)JTB ビジネスソリューション事業本部 第四事業部

# JTBビジネスソリューション事業紹介

JTBグループの価値創造の源泉は、**つなぐ・つなげる。**



より多様で、より多くのつながりで  
イノベーションを創出し、社会課題の解決に貢献する。

## 未来へつなげる

# 交流創造事業

JTBならではのソリューション（商品・サービス・情報および仕組み）の提供により、地球を舞台にあらゆる交流を創造し、お客様の感動・共感を引き起こすこと。

交流 = 人流・物流・金流・情報流

## 交流が生み出す3つの価値

JTBは、交流創造事業を通して、交流の持つ3つの価値を最大化していきます。そして、サステナブルでより良い世界を実現していきます。

### 人を満たす

交流は、人間の良くありたいという願いを叶えます。感動や共感、学びの機会を創出し、心身の健康に寄与します。



Human



#### 感動と共感

- 非日常、異日常体験
- 遊、快、楽、癒し
- 身体や心の活力
- 友情や愛情の醸成



#### 学び

- 多様な文化、歴史
- 自然、環境
- やさしさ、思いやり
- 知的好奇心の刺激



#### 心身の健康

- 食事
- 運動
- 自然とのふれあい
- ウェルビーイング

### 社会を発展させる

交流は、社会を発展させる原動力です。イノベーションを創出し、経済を活性化させます。そして平和に貢献します。



#### イノベーション

- つながりによる価値創造
- 時空を超えた協働、協業
- “リアル”の革新によるCX向上



#### 経済

- 地域振興、雇用拡大
- 交流・関係・定住人口の増加
- DX促進による生産性の向上



#### 平和

- 国際、地域間の相互理解
- 多様な文化の共栄
- 文化の継承・振興と創造
- 安全で平和な社会の実現



Society

### 地球の豊かさを守る

交流は、地球の豊かさを守る力があります。自然との触れ合いを通して地球への愛情を育み、共生や持続可能性を実現します。



Nature



#### 共生

- 自然保護
- 生物多様性への貢献
- 環境・景観の整備、活用、保全



#### 持続可能性（環境面）

- 温室効果ガス削減
- サーキュラーエコノミー
- 持続可能な農業、漁業、林業



#### 環境の安定

共生、持続可能性の結果として

- 気象災害の低減
- 水不足の解消
- 公害の解決

お客様や事業パートナー様とのお取引を通じて培った「交流創造力」が当社グループの強みです。

## 交流創造事業

交流創造力

### 豊富なソリューション

(旅行・旅行以外)



観光事業者**8**万社



ソリューション事業者  
**1**万社

交流創造力の  
源泉

交流創造力の  
基盤



**JTB協定旅館ホテル連盟**  
JTB-Affiliated Ryokans & Hotels Federation

(ステークホルダーネットワーク)



企業**35,000**社



地域・行政**550**市区町村



学校(学生・生徒)**84**万人



個人(旅行者・生活者)  
**2,000**万人



**JTB総合研究所**  
JTB Tourism Research & Consulting Co.



一般財団法人  
**日本健康開発財団**  
JAPAN HEALTH & RESEARCH INSTITUTE

(交流に関する調査研究機能)

### 現場対応力

(やり切る力)

ホスピタリティ



誠実性

責任感・胆力



柔軟性

国際的メガイメント対応の経験値

関係機関様との強固な連携



あなたの学びの応援団

**JTB UNIVERSITY**

[ JTBグループ社員の成長を支援する  
グループ横断型人財開発プラットフォーム ]

110年の歴史の積み重ね・交流を支えるグローバルネットワーク

\*数値は年間の接点

地球を舞台に交流を創造するための、安心・安全なネットワークを構築しています。

日本 47都道府県

海外 35カ国・地域、80都市、159拠点  
(提携販売店を含む本社・支店・営業所)

## JTB拠点数

385拠点

(リテール店舗+法人営業拠点)

## 提携販売店

総合提携店  
72社・181店舗

企業アライアンス  
15社・16店舗

## ヨーロッパ 17カ国20都市30拠点

アムステルダム(2)	プラハ(2)
ロンドン(5)	オスロ
パリ	コペンハーゲン
ローマ(3)	ストックホルム
ジュネーブ	ヘルシンキ
チューリヒ(2)	ロバニエミ
マドリード(2)	モスクワ
フランクフルト	サンクトペテルブルグ
ブダペスト	タリン
ザグレブ	ワルシャワ

## オセアニア 2カ国5都市6拠点

シドニー(2)	メルボルン
ケアンズ	オークランド
ゴールドコースト	

## ミクロネシア 1カ国2都市2拠点

グアム	サイパン
-----	------

## 中国 1カ国3都市10拠点

北京(3)	青島(2)
上海(5)	

韓国 1カ国1都市1拠点

## アジア 10カ国・地域27都市64拠点

シンガポール(6)	メダン
クアラルンプール(2)	パレンバン
コタキナバル	マラン
バンコク(2)	台北(2)
プーケット	高雄
ホーチミン(2)	デリー(2)
ハノイ	グルガオン(2)
ダナン	ムンバイ
パリ(2)	バンガロール
ジャカルタ(24)	マニラ
ボゴール	セブ
バンドゥン(2)	香港(2)
スラバヤ	マカオ
チレゴン	

## 北米・南米 3カ国17都市27拠点

トランス(5)	フェニックス
サンディエゴ	リッチモンド(3)
ニューヨーク	トロント
ラスベガス(3)	バンフ
サンフランシスコ	カルガリー(2)
シカゴ	サンパウロ(2)
アトランタ	リオデジャネイロ
ニューオーリンズ	マナウス
ボストン	

ハワイ 1カ国1都市1拠点

JTB-EVP / HRCを通じて、企業のインナー(従業員)課題の解決に貢献します。 ※EVP・・・企業による従業員への価値提供

## HR-Tech & コンサルティングサービス

30年にわたり培った独自のワーク・モチベーション理論をもとに開発したクラウドサービス「WILL CANVAS」で、組織開発をご支援。  
専任のコンサルタントが、組織課題の可視化から解決施策ご提案までワンストップで対応し、組織開発支援を通じてクライアントの業績向上に貢献。



WILL CANVAS

<https://www.willcanvas.jtbcom.co.jp/>

## 組織・人財開発 施策 コンテンツ・ソリューション

急速な環境変化で複雑化する人財関連の課題解決に向け、各種ソリューションをご提供。  
モチベーションやホスピタリティ向上を実現する仕組み作りや、参加者の意欲と行動を変える体験型アクティビティなど、豊富なメニューを取り揃え。



(例)7つの習慣® Outdoor

<https://www.jtbbwt.com/business/service/solution/meeting-event/seminar/>

<https://www.jtbbwt.com/business/service/solution/meeting-event/seminar/7habits/>

## 福利厚生サービス

事業提携を結んでいる株式会社ベネフィット・ワン様が提供する福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」により、従業員の「福利厚生支援」「健康支援」「教育・研修支援」を実現。



Benefit Station

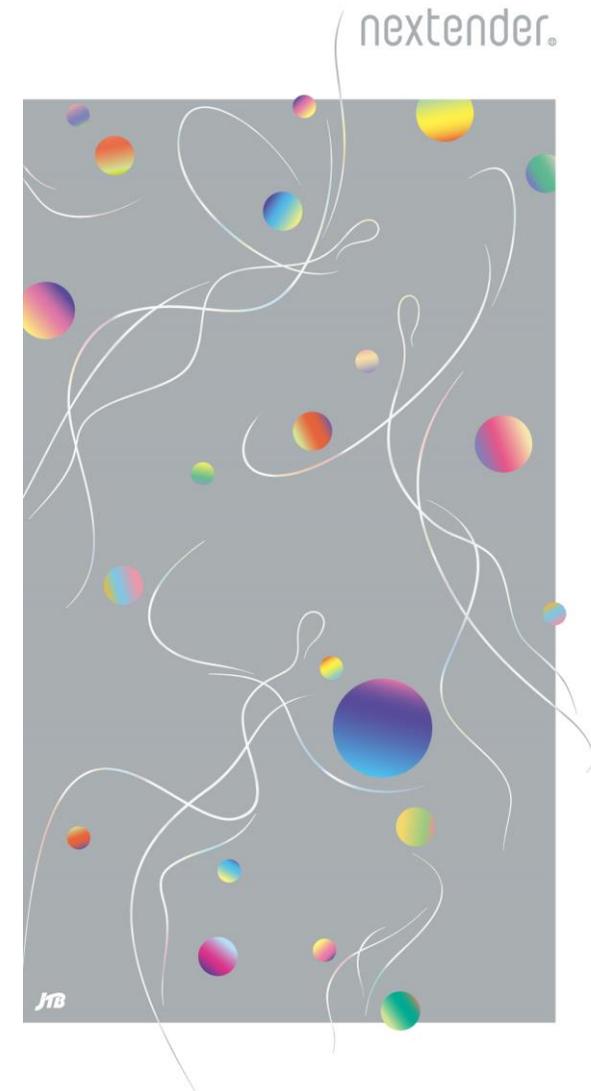
<https://corp.benefit-one.co.jp/service/bs/>

<https://bs.benefit-one.co.jp/bs/pages/bs/top/top.faces>

## 世界に、あたらしい関係を。

JTBグループでは、グループ全体のイノベーション創発プロジェクト『nextender®』（ネクステンダー）を運用し、「学ぶ」「つながる」「挑戦する」のサイクル循環により社員の挑戦心を後押しすることで、イノベーションの量と質の向上に取り組んでいます。

地球を舞台とする様々な新しい交流を通じ、「感動」と「よろこび」をお客様に継続してお届けするために、JTBグループが110年を超えて培ってきた「多様なステークホルダーをつなぎあわせることで新しい価値を生み出す力」と、「社会や人の喜びを中心にイノベーションを考えられる想像力」をかけあわせ、JTBグループらしいイノベーションを創発し、世界にまだない価値をつくりだすことを目指しています。



# Global Sustainability Project



## 【創造性支援フレームワークの整理】

	発散（知識の拡張） →新規性	収束（知識の結合・精錬） →有用性
個人	A：知識の多様性を高める	B：知識の質を高める
集団 チーム・会社	C：知識の流通量を増やす	D：焦点を合わせる



## 【目的/説明】

- ✓ 地域課題解決/取組実行
- ✓ 企業と地域のマッチング  
/持続的な接点

日本の未来を担う次世代の「企業人」が、世界の最先端事例を学び、地域で体感したことを通じて、社会課題を解決していく実践型プロジェクト





- ✓ 全体説明会
- ✓ オンラインセッション



- ✓ 現地視察



- ✓ 事業共創  
プレゼンテーション



- ✓ GSP Lounge

# GSP Lounge

-Community for future leaders-

SUSTAIN  
持続可能な社会へ



メールマガジン



SNS



交流会



## メインコンセプト

北海道ステージ

### 自然との共生 ～自然と文化の融合～

世界に通ずる「自然に帰る」事業のあり方を問い、消費する観光ではなく、循環する観光を学べる機会を実現します。



### Well-being

沖縄ステージ

### ～つながりにより豊かな地域づくり～

崩壊の危機現実に向き合うリーダーたちの想いと活動に学び、真に豊かな自然の在り方を問います。



南紀白浜ステージ

## SENSE OF DIVERSITY 感性からはじまる多様性



南紀白浜における魅力溢れる体験を五感で感じ、感性を磨くことによって、個の多様性から生まれるイノベーションへ導いていきます。



## メインコンセプト

# SUSTAINABLE CRAFTSMANSHIP 進化し続ける伝統から学ぶ ブランド作り

日本のハブを目指して経営革新する地域企業や、グローバルで高く評価をされる製造や取り組みなどを通し、サステナブルなブランドづくりを学びます。



## 日程

Communicate-1 (全体説明会)	2023年 10月6日(金)
Communicate-2 (オンラインセッション)	2023年 10月18日(水)
Experience (現地視察)	2023年 10月26日(木)-28日(土)
Innovate (事業共創プレゼンテーション)	2023年 11月15日(水)

## プロジェクト全体代金

お一人様 880,000円(税込)

## 最少催行人員

20名(募集定員 30名)

## 現地視察時の旅行条件 (抜粋)

- ・開催地 大分県日田市
- ・旅程 2泊3日(詳細別途ご案内致します)
- ・利用ホテル 未定
- ・客室 1名1室利用
- ・食事条件 朝食:2回 / 昼食:2回 / 夕食:2回
- ・交通機関 現地集合/解散

## 資料請求

2023年 8月25日(金)まで

※申込は先着受付順となり定員になり次第締切とさせていただきます。

## スケジュール

Communicate-1 (全体説明会)	2024年 5月24日(金)
Communicate-2 (オンラインセッション)	2024年 6月5日(水)
Experience (現地視察)	2024年 6月19日(水)-21日(金)
Innovate (事業共創プレゼンテーション)	2024年 7月17日(水)
Sustain (GSP Lounge)	2024年 未定

## プロジェクト全体代金

お一人様 880,000円(税込)

## 最少催行人員

20名(募集定員 30名)

## 現地視察時の旅行条件 (抜粋)

- ・旅程 2泊3日(詳細別途ご案内いたします)
- ・利用ホテル 未定
- ・客室 1名1室利用
- ・食事条件 朝食:2回 / 昼食:2回 / 夕食:2回
- ・交通機関 現地集合 / 解散

## 資料請求

2024年 4月30日(火) まで

※申込は先着受付順となり定員になり次第締切とさせていただきます。

### 旅行企画・実施

株式会社JTB ビジネスソリューション事業本部  
第四事業部

観光庁長官登録旅行業第64号

(一社)日本旅行業協会正会員



ボンド保証会員



2-1-1 旅行業公正取引  
協議会 会員

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引責任者です。  
ご旅行の契約に不明な点がございましたら、速慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお問い合わせください。

※予告広告です。正式な募集は2024年5月にご案内する予定です。



第四期  
EXPERIENCE 実施要項

THEME : Global & Local

関係人口の強化に向けて

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。  
 様々な地域にて、人口減少・高齢化・人財不足という共通な課題に直面しています。  
 地域によっては若者を中心に、変化を生み出すヒトが入りはじめており、  
 「関係人口」と呼ばれる地域外人財が地域づくりの担い手となることが期待されています。



NETWORKING

地域で活躍する経営者、企業人、  
 自治体職員を始めとする現地パートナーの方々と  
 「つながり、未来を創る」  
 インタラクティブな対話時間を設けます。



EXPERIENCE Fieldwork & Dialogue



WHY ECHIZEN?

ウェルビーイング(幸せ実感)を総合計画の理念に掲げる越前市。  
 長い歴史と伝統文化が連続と引き継がれ、先人の努力によって日本の中でも住みよい都市の上位にランキングされています。また、歴史的遺産を継承した古い町並や、建物を活かしたまちづくりが進められています。  
 歴史を大切にしながら常に新しい事例に取り組み、幸せを実感できるウェルビーイングな市を体験していきましょう。

地域課題 (サステナブル要素)	ジェンダー平等 5 ジェンダー平等を 実現しよう	働きがい 8 働きがいも 経済成長も	インフラ 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	まちづくり 11 住み続けられる まちづくりを	パートナーシップ 17 持続可能な社会を 実現しよう

「田んぼのど真ん中」にできる新幹線駅  
 を活用した人流を考える

県外客を迎える新たな玄関口と、中心市街地にある従来の交通結節点。越前市は二つの拠点を抱えることになる。  
 “未開の地”からの人流と街づくりをほぼゼロの状態からどう構築していくか。



環境に配慮した取り組みで  
 コウノトリと住む街を知る

2030年のあるべき姿として、  
 「生き物と共生し、多様性を認める共生のまち越前市」と定めSDGs推進を行っている街。  
 生物との交流からサステナブルな取り組みを学ぶ。

伝統工芸を守った10名の職人  
 「エンゲージメント」を学ぶ

高度経済成長により、700年の歴史がある越前打刀物を扱う鎌鍛冶屋60社のうちほとんどが廃業に追い込まれた。  
 タケフナイビルレッジ創立の立役者である10名の職人の苦境打開手法と後継育成術を学ぶ。

サステナブルな交流の創造  
 「UIターン」の先進的な取り組み

街の魅力発信と合わせ、「メタバース移住定住・交流会」を開催するなど、デジタルとリアルを融合させて新たな視点から移住促進に向けたアプローチに注力している先進的な事例を体感する。

学びから行動へ

現地での体験を振り返り、プレゼン作りへ。  
 自社と仲間(GSP参加者)と新たなプロジェクトに向けた大きな一歩を踏み出す。

PRESENTATION

セルフプレゼンテーション

現地視察を通じて感じて学んだ内容をアウトプットし、  
 サステナブルな事業開発構想の実現につなげていきます。



## スケジュール

Communicate-1 (全体説明会)	2024年 10月4日(金)
Communicate-2 (オンラインセッション)	2024年 10月10日(木)
Experience (現地視察)	2024年 10月20日(日)-22日(火)
Innovate (事業共創プレゼンテーション)	2024年 11月15日(金)
Sustain (GSP Lounge)	2024年 未定

## プロジェクト全体代金

お一人様 880,000円(税込)

## 最少催行人員

20名(募集定員 30名)

## 現地視察時の旅行条件 (抜粋)

- ・旅程 2泊3日 (詳細別途ご案内いたします)
- ・利用ホテル 未定
- ・客室 1名1室利用
- ・食事条件 朝食：2回 / 昼食：2回 / 夕食：2回
- ・交通機関 現地集合/解散

## 資料請求

2024年 8月30日(金) まで

※申込は先着受付順となり定員になり次第締切とさせていただきます。

### 旅行企画・実施

株式会社JTB ビジネスソリューション事業本部  
第四事業部

観光庁長官登録旅行業第64号  
(一社)日本旅行業協会正会員  
住所：東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング31階



ホント保証会員



旅行業公正取引  
協議会 会員

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引責任者です。  
ご旅行の契約に不明な点がございましたら、速慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお問い合わせください。

※予告広告です。正式な募集は2024年9月にご案内する予定です。



## 第五期 EXPERIENCE 実施要項

THEME : Global & Local

協働から学ぶ、再生と復興

東日本大震災から13年。甚大な被害を受けた東北三陸地域。  
「まちの未来」と民間の「課題解決力」をつなぐ協働こそ、ローカルの生き残る道。  
復興への歩みの中で、行政は多くの民間団体と協働を進めてきました。  
少子高齢化・人口減少等の「課題先進地」ともよばれた被災地で官民が行った連携の事例には、全国のローカル地域へのヒントがちりばめられています。



NETWORKING

地域で活躍する経営者、企業人、自治体職員を始めとする現地パートナーの方々と「つながり、未来を創る」インタラクティブな対話時間を設けます。



EXPERIENCE Fieldwork & Dialogue



三陸地域における「ヒト」「モノ」「つながり」を見て体験し、復興を実感できるまちづくりから再生力（レジリエンス）を学びます。

WHY SANRIKU?

三陸地域における安全な復興計画の基本とする、高台移転と分散型土地利用。安全が確保されたとはいえ、さらに自然を減少させ環境問題を引き起こし、また人口減少社会においての効率と経済的な観点から課題は山積している。復興計画には今だ多くの課題に直面している三陸地域にて、サステナブルな都市計画を体験する。

地域課題 (サステナブル要素)	海を守る 14 漁業資源の持続可能な利用	働きがい 8 働きがいのある人間らしい雇用	インフラ 9 産業・観光・生活の発展を支える持続可能なインフラ	まちづくり 11 気候変動に脅かされるコミュニティの強靭なまちづくり	パートナーシップ 17 パートナーシップの推進
--------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------------------	--	-------------------------------

<p>復興が目指す姿にはSDGsとの多くの共通点があった</p> <p>被災地では大型の復興工事はほぼ終わる一方で、町の高齢化が進み、若者が活躍できる場所が減少している現状。これからは復興ではなく、新しい街になるための取り組みを進めるべく次のステージへ向かっている。</p>	<p>津波が与えた子どもたちへの影響</p> <p>「心の問題」とともに「土地起因の問題」が存在。多くの土地が住めなくなったことによって、仮設住宅での生活を余儀なくされ、同時に体を動かせる「遊び場」を失ったりと様々な影響が生じている。</p>
<p>大がかりな区画整理・いまだ「空き地」</p> <p>被災者の生活環境が変化し、活用されないままの土地がいまも多く残っている。課題が多く、買い手も借り手も見つからない土地に新たな価値を生み出すことはできるのか。</p>	<p>三陸の海を代表するブランド 恋し浜ホタテ</p> <p>“量より質”にこだわる三陸の海を代表する「ホタテ」漁協による直販でのみ出荷するスタイルを採用する取り組みが身を結び、ブランドとしての人気を確立した。街の広告塔としても活躍する物流戦略を学ぶ。</p>

学びから行動へ

現地での体験を振り返り、プレゼン作りへ。自社と仲間（GSP参画者）と新たなプロジェクトに向けた...

PRESENTATION

セルフプレゼンテーション

現地視察を通じて感じて学んだ内容をアウトプットし、サステナブルな事業開発構想の実現につなげていきます。



# 体験型ワーケーション

～Work×Related Population～



## 地域とつながれば、企業はもっとつよくなる **Work × Related Population**

従来のワーケーションといえば……

休みながら働くスタイル

有給休暇の延長

働き方改革のひとつ

個人主体

この認識、今変わりつつあります！

地域とのつながりを重視する**企業活動の一環**へと変化しつつあるワーケーション。JTBはこの**趨勢をリードする存在**として、**企業と地域のエンゲージメント向上**を徹底サポートします

- 地域創生・社会貢献をしながら、かつ従業員の**スキル・キャリアアップ**につなげられます
- 社員が新しい知見・考え方をもち帰ることで、**企業力の底上げ**や**組織風土の改革**を目指せます
- RP（関係人口）としてかかわることで地域との継続した強い関係を築き、**事業拡大**や**地域との共創**による**ビジネスチャンス創出**の機会を増やします

たとえば……

### いつもの社員研修をワーケーションで

食材の産地を訪れたり、リラックスしながらプレストを行ったりと、ワーケーションはいつもの社員研修にも活用いただけます！

### 地域創生や社会貢献として

CSR活動の一環として、被災地にボランティアとして参加。通常の業務を止めることなく、社会貢献の企業風土を醸成できます。

## ワーケーションがもたらす様々なメリット

### 企業

- ✓ 社員同士のコミュニケーション・エンゲージメントの強化
- ✓ 生産性・創造性の向上（実証済み）
- ✓ 離職防止・採用活動の強化
- ✓ 地域創生（地域とのつながりをつくる）

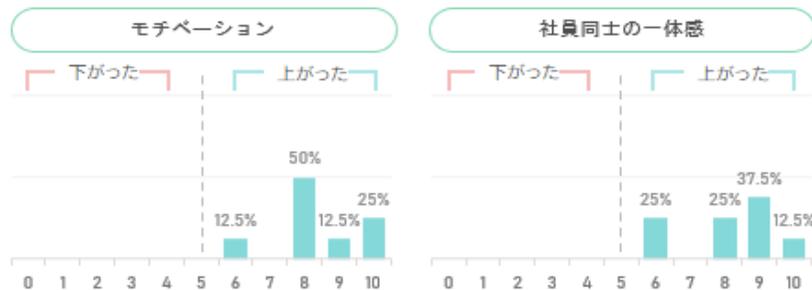
### 地域

- ✓ 企業とのつながり（コミュニティ）の構築
- ✓ 地域課題の解決
- ✓ 新規事業開拓による地域活性化
- ✓ 関係人口の創出

### 従業員

- ✓ 通常の業務を継続しながらリラックス・リフレッシュ
- ✓ モチベーションや業務効率の向上
- ✓ 環境の変化がもたらす、新規アイデアのひらめき
- ✓ 企業主導だから、取得に引け目を感じる必要がない

実際の効果測定（11段階評価）でも――



参加者全員が「モチベーション・社員同士の一体感」について効果を実感！

## 全国ネットワークを駆使したJTBならではのソリューション

### 企業



- ヒアリング・分析 ○ 企業の悩みや課題・ニーズを整理、分析
- プログラム作成 ○ 地域を知り尽くした「地域コーディネーター」と連携し、地域の強みを活かした、企業の課題解決につながるプログラムを作成
- 準備 ○ 移動手段や宿泊先の手配を含め、本番までの準備をワンストップでご提供
- ワーケーション ○ トラブル時のサポート、バックアップなど

### 地域コーディネーターとは

- 全国47都道府県に広がる、地域の情報やネットワークを駆使しながらJTBと連携するパートナーのこと
- 地域の強みや特性を活かしたワーケーションプログラム提供が可能

地域コーディネーターと綿密に連携しながら、みなさまの課題解決に結びつく最適なプログラムをご提供します！

PROJECT 01  
商店街(産業)

離れた東京から、被災地の商店街や地元企業と一緒に、自社の強みを生かした支援策・復興策を考案し、実行

現状

- 振興を取り戻すべく、震災後に飲食店を開店。売り上げが1,000万円を超える大盛況
- 加賀温泉は周遊性が低いという課題を抱えていたが、青年会が中心となり、変革の動きがある

内容・目標

- 市外・県外からの来店者を増やす
- ECサイトでの販売を始めるためのマーケティング支援
- 宿泊だけでなく、周遊性の増加を実現するような、加賀温泉での街づくり

例

- ナイトタイムエコノミー
- チケット制飲み歩きなどのウォークラリー  
(参考: [すみだまるごとバルウォーク](#))



輪島の朝市



七尾の商店街

PROJECT 02  
お祭り(伝統)

震災で中止になったお祭りを復活すべく、日本伝統の観点から議論し、地域の方々と当日までに行えることを検討

現状

- 重要無形民俗文化財に指定されている「青柏祭の曳山行事(でか山)」は、5月に開催される能登で一番盛り上がるお祭り
- 大火事の年も絶やさなかった、町中を12m級の山車を曳きながら練り歩く、伝統あるお祭り
- 地面が隆起するなど、安全性の問題で中止に

内容・目標

- でか山は市民の元気の源であるため、何としても復活させる
- 祭りの復活計画を、地域の方々と議論・検討
- 祭りの際には、でか山の曳き手として参加

補足

- 東京まで山車を移動する費用は、約2,000万円



PROJECT 03  
農業

地震で被害を受けた農業の課題を把握し、解決に向けて実働しながら、新たな事業を開拓

場所

- 七尾・能登エリア(仮)

現状

- 農業用ダム・ため池が損傷
- 稲作ができないほどの地割れ
- 農業用機械の破損
- 高齢化・過疎化による人手不足

内容・目標

- 農業再開に向けた作業支援と、新事業の開拓
- 泥水を活用した再整備や、水田の利用法の検討
- 新たな用水路確保やパイプラインの作り直し
- 兼業制で生計を立てられるような仕組みづくり
- ECなどを利用した、販路拡大
- ドローンによる農業散布導入での人材不足解消



七尾の田んぼ



地割れした田んぼ

PROJECT 04  
福祉

福祉関係の人手不足・資金不足や、子供の「引きこもり」問題を解決し、七尾市を再び安心して住める場所へ

現状

- 福祉補助金の優先順位が変わり、介護などの資金・人手不足が深刻化
- 自治体によると、子供の「引きこもり」は1%と公表されているが、実態は10倍の10%と、開きがある  
(七尾市の小学校生徒300人のうち、引きこもりは30名以上いるとされるが、自治体の公表は5名)
- 子育て支援に知見のある企業が、自治体とやり取りを開始、現在進行中

内容・目標

- 人手・資金不足を解消し、街に安心を取り戻す
- 引きこもりの子供が外部とつながるような策の検討や、具体案の実行
- 自治体との交渉



神社の鳥居



七尾自動車学校

## ◆6/12締切！5社10名限定・体験ツアー◆

# Work × Related Population

### 復興ワークショップ 体験会

スキル、ノウハウ、実績に長けた首都圏の企業が来てくれるならば、力仕事もうれしいが、復興計画を議論したり、実際に作成したりしながら、「伴走」してほしい

今、皆元気がない。

現地の声

元気になること、笑顔になること、それ自体が復興支援です。

#### 課題

- 単発のボランティアは、「復興計画の作成・推進に伴走してほしい」という被災地の声には応えられない
- 日々変化していく被災地の要望に応えるには、継続した支援が必要だが、企業の通常業務を長期にわたり停滞させることは難しい

↓ 復興ワークショップなら ↓

#### 解決

- 通常業務を続けながら、まとまった期間復興支援に従事できる上、遠隔地からでも継続した支援が行えます！
- 企業のCSR活動の一環として、地域創生・地域貢献を行えます
- ワークショップを通じて「関係人口(Related Population)」を増やせます。地域とのきずなが深まり、新事業開拓も視野に入ります

#### 対象者

とにかく能登大震災の復興支援をしたい企業のご担当者様  
 人材開発・組織開発・人的資本への投資を考えるご担当者様  
 事業創造・新規事業開発のご担当者様  
 以下の課題をお持ちの企業ご担当者様  
 ・チームビルディングやコミュニケーション研修プログラムにネタが尽きてきた  
 ・地域創生をどう進めていいかわからない(SDGsへの貢献・サステナブル等)

#### 参加費

**お一人様：10,000円**  
 <含まれるもの> 宿泊費(1泊)、食事代(1日目：昼食/夕食 2日目：朝食/昼食)  
 現地移動費(フィールドワークは車・徒歩を予定しています)  
 ※往復交通費は含まれていません(例：東京駅～七尾駅)

#### 概要

単発ボランティアではなく、継続した復興支援を

■日時：7月1日(月)～7月2日(火) 1泊2日

■場所：能登地域(石川県七尾市)

※被災地の状況により変更になる可能性があります。

■お申込みはこちらから ※申込締切：6/12(水)

※問合せフォームより、

ご相談内容詳細に「復興ワークショップ体験会」とご入力ください

#### 被災地でのボランティア活動例



能登DMC  
NOTO DMC LLC.

- ▶ 復興に取り組む事業者やプロジェクトを支援
- ▶ 地域外の事業者との連携や、人材の斡旋

プロジェクト例

- キリコ祭り(能登の伝統祭)をはじめ、お祭りや神社など文化の復興
- 酒蔵の再興
- 中小企業の復興計画立案
- 教育や遊びの機会を失った子供の居場所づくり
- 七尾市一本杉通りの再生



加賀屋



輪島の朝市

#### 時間割とプログラム内容の一例

	1日目	2日目
朝	各地から移動	8:00 フリータイム 9:00 関係者とプレスト
昼	町内フィールドワーク 13:30 オリエンテーション 15:00 フィールドワーク	13:00 ランチタイム 14:00 チェックアウト ミーティング
夕	18:30 夕食交流会	16:30 移動
夜	能登七尾市内に宿泊	

■お申込みはこちらから

※ご相談内容詳細に「復興ワークショップ体験会」とご入力ください

**JTB**

感動のそばに、いつも。